



法と人間科学・公開シンポジウムの開催について（お知らせ）

— 『法と人間科学』 という学融的領域が切り開く未来 —

開催概要：

平成 23 年度より文部科学省科学研究費補助金（新学術領域研究）を受け開始した、「法と人間科学」の公開シンポジウムを開催します。

法は何故守らなければならないのか？ 冤罪は何故起こるのか？ 望ましい被害者支援のあり方は？ 裁判員裁判の今後のあり方は？ こうした問いに答えるために、「法と人間科学」という新しい学問は何をすべきでしょうか？ 本シンポジウムでは「法学だけでも人間科学だけでも解決できない問題」について、研究者、実務家、そして市民、学生の皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

日程： 2013 年 1 月 12 日（土） 開場 13:00 開始 13:30 / 終了時刻 15:30

場所： 東京商工会議所 国際会議室（東京都千代田区丸の内 3-2-2） ※東京駅より徒歩 10 分

主催： 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「法と人間科学」

後援： 北海道大学大学院文学研究科

参加対象・募集人数： 本シンポジウムに関心のある方・最大 150 名

参加費： 無料

言語： 日本語

プログラム： 『法と人間科学』 という学融的領域が切り開く未来

13:30～ 挨拶 仲真紀子（領域代表者・北海道大学 大学院文学研究科 教授）

13:40～ 第一部《過去から現在へ：法と人間科学の歴史からの展望》

刑法思想史 石塚伸一（龍谷大学 法科大学院 教授）

法心理（思想）史 サトウタツヤ（立命館大学 文学部 教授）

14:20～ 第二部《現在から未来へ：近年の接点からの展望》

裁判員裁判 唐沢かおり（東京大学 人文社会系研究科 教授）

治療的司法 指宿信（成城大学 法学部 教授）

15:10～ 指定討論

浜田寿美男（立命館大学 特別招聘教授）

藤田政博（関西大学 社会学部 准教授）

プログラム詳細：

全体として、法と人間科学という領域が実現できることを討論します。

第一部では、西洋において、キリスト教の支配が弱くなり、近代になるにつれ、統治の領域で人間の性質を考える必要がでてきたこと、それが先鋭化したのが刑法の領域であったこと、そこに近代の申し子のような学問である心理学がかかわって、一時期「法心理黄金期」が築かれたこと、その後それが下火になったことについて、法学と心理学の立場から話題提供します。同時にこうした流れが日本においてどのように影響したのかについても論じます。こうした話題提供によって、法と人間科学の根源的正統性を訴えるということになります。

石塚伸一は、近代以降の罪と罰の構成から、どのように法理論が組み立てられ、それがどのように人間の性質を考えることと切り結んだのかを考えます。

サトウタツヤは、近代心理学成立後に、どのように心理学が法実務と切り結ぼうとし、それが成功・失敗した要因について考えます。

第二部では、国家対個人、専門家対民衆という枠で行われてきた裁判を見直すということを裁判員裁判（民衆参加型裁判）、治療的司法（懲罰ではないあり方）を通じて考えます。そして、こうした動向は、法と人間科学を、刑法以外の領域に開いていくことを論じていきます。例えば、被害者の感情や支援など、未来の被害を防止するという意味での加害者臨床などがこれにあたります。さらに、民事と心理学が必要とされていることについて論じたいと考えます。

唐沢かおりは、裁判員裁判が始まることは、法と人間科学にどのようなテーマを突きつけているのか、それを心理学からどのように扱うかを通じて、「法と人間科学」という統一領域の必要性を考えていきます。

指宿信は、法学の立場から話題提供します。司法臨床・加害者臨床のようなことが話題になっている今、法学がどのようにこれを扱うかを通じて、「法と人間科学」という統一領域の必要性を訴えていきます。

申し込み期間・方法：

氏名と所属を明記の上、E-mailでお申し込みください。（申込みの方優先でご入場いただきます。）

「法と人間科学」佐藤班（立命館大学 佐藤達哉・山崎優子）

E-mail : hotoningen. sympo@gmail. com

お問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究科 法と人間科学事務局 教授 仲真紀子・学術研究員 佐々木真吾

TEL/FAX : 011-706-3912 E-mail : lahs@let. hokudai. ac. jp

法は何故守らなければならないのか？
冤罪は何故起こるのか？
望ましい被害者支援のあり方は？
裁判員裁判の今後のあり方は？

こうした問いに答えるために、「法と人間科学」という新しい学問は何をすべきでしょうか。本シンポジウムでは「法学だけでも人間科学だけでも解決できない問題」について議論します。学生・市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

ご来場をお待ちしております。

公開シンポジウム

『法と人間科学』という学融的領域が切り開く未来

13:00	開場
13:30~13:40	ご挨拶 仲 真紀子 (北海道大学大学院文学研究科教授)
13:40~14:20	第一部 過去から現在へ 法と人間科学の歴史からの展望 刑法思想史 石塚 伸一 (龍谷大学法科大学院教授) 法心理(思想)史 サトウタツヤ (立命館大学文学部教授)
14:20~14:30	休憩
14:30~15:10	第二部 現在から未来へ 近年の接点からの展望 裁判員裁判 唐沢 かおり (東京大学大学院人文社会系研究科教授) 治療的司法 指宿 信 (成城大学法学部教授)
15:10~15:30	指定討論 浜田 寿美男 (奈良女子大学名誉教授/立命館大学特別招聘教授) 藤田 政博 (関西大学社会学部准教授)

[日時]
2013年1月12日 土
 13:30~15:30

[会場]
東京商工会議所 国際会議室
 千代田区丸の内3-2-2 (東京駅から徒歩10分)

[主催] 文部科学省科学研究費補助金
新学術領域研究「法と人間科学」
<http://law-human.let.hokudai.ac.jp/>



座席には限りがございますので、できるだけ事前のお申込みをお願いいたします。お申込みいただいた方優先で、ご入場いただきます。

<お申込み方法>
 お名前とご所属を明記の上、下記までお申し込みください。

お申込み・お問い合わせ先

「法と人間科学」佐藤班 (立命館大学)
hotoningen.sympto@gmail.com

東京商工会議所ビル7階 国際会議場

[JR]
 ○千代田線・二重橋前駅、三田線・日比谷駅より徒歩2分
 ○日比谷線・日比谷駅、有楽町線・有楽町駅より徒歩3分
 ※以上の駅からはB7出口が便利です。
 ○丸の内線・東京駅より徒歩10分
 ○有楽町線・丸の内南口より徒歩10分
 ○京葉線・東京駅より徒歩5分
 ○有楽町線・国際フォーラム側より徒歩5分